

社会福祉法人弥勒会  
事業報告書

平成 27 年度

## 平成27年度 いでの里 事業報告

平成27年度は、平成26年度から一転して、入所系事業所の運営がたいへん厳しく、実績が上昇方向の在宅系事業所がそれをカバーした1年間となりました。

特養は、入院される方、そして退所になられた方も平成26年度よりかなり増加するとともに、平成28年2～3月における感染症発生に伴う、入院や入所延期措置等が影響し稼働率が低下しました。グループホームでも、退所や入院という変動要因が多かったため、同じく稼働率が低下しました。

一方、デイサービス・ショートステイ・ヘルパーステーションについては、いかにして多くの方に利用していただけるのかという問題意識を各事業所がしっかり共有しながら、平成27年度は居宅介護支援事業所との連携を強化し、うまく機能させ、またサービス内容向上についても各事業所自らが改善していくなどにより利用者数の拡大が図れました。

このように平成27年度についても、それぞれの事業所がカバーし合い、いでの里全体では予定どおりの実績を残すことができましたが、在宅系から入所系まで幅広く多種の事業部門を有し、有機的に連携することにより相乗効果を生み出すという枠組みは、いでの里の大きな強みとなっています。

### <平成27年度目標と対応>

#### 1 平成27年度介護報酬改定への対応

サービス単価の削減、良好なサービス事業者への加算等の介護報酬改定により高稼働率の確保、サービス提供体制の強化等が求められました。このため、特養の入退所は1週間を目途にし、空きベッドをできるだけ作らない、空きベッドが出ればショートステイで利用するよう施設内の情報共有を行い、退所後はデイサービスに繋げるなどの利用者増に向けた活動を行いました。

また、サービス加算の適用・維持のため、デイサービスの機能訓練指導員（作業療法士）によるご利用者様宅訪問指導の実施、正看護師や介護福祉士の資格を持つ職員の適正配置に努めるとともに、施設全体での経費節減にも取り組みました。

#### 2 職員のスキルアップ

個々の職員の経験やスキルに合った研修の受講、施設内勉強会の実施、資格取得によりスキルアップしていくことを目標としました。

新入職員(3名)に対してはグループ全体の研修を経て、施設内担当職員により、段階を踏んだ教育指導を行い、中堅職員に対しては、経験やスキルに合った外部研

修等への参加について積極的に行いました。(延べ82名)

施設内勉強会は、各委員会活動の一環として概ね毎月1回のペースで開催するとともに、各事業所独自の研修も企画実施しました。(15テーマ)

資格取得については、各種講習会への受講など施設としても支援を行い、職員の頑張りもあり、4名の職員が介護福祉士となりました。

### 3 地域と共に

平成27年度も、一年を通して地元関係団体、ボランティアの皆様が各事業所の運営や施設のイベントにも協力いただき、時にはご利用者様に楽しい時間を提供いただきました。今や地域の皆様のご協力は施設にとって大きな宝となっております。ご利用者様が地元の行事に参加することもしっかり定着し、楽しみとってきており、また、地元の小・中学生との交流の場も定期的にも実施するとともに、平成28年3月には初めて、地域の福祉推進活動「ふれあいサロン」に参加し、事業の紹介・交流をさせていただきました。

## I 事業運営

### 1. 社会福祉法人等指導監査

11月12日、京都府による指導監査を受けました。

監査対象 社会福祉法人弥勒会（法人運営・経理関係）

京都府健康福祉部介護・地域福祉課職員3名により実施されました。結果、運営上重大な不備はなく、事務処理上の指摘事項（資産総額の登記期限等）がありましたが、全体的に事務はきちんと行われている、との評価を受けました。

### 2. 納涼祭

7月26日、夏の風物詩として、昔を思い出し懐かしんでいただき、家族間や地域交流を深める場として、毎年恒例の納涼祭を実施いたしました。多くの地元ボランティアの皆様、井手町社会福祉協議会の皆様、学生ボランティアの皆様、そしてご家族の皆様の協力を得て、盆踊りや出店、花火を楽しんでいただき、また、早くから実行委員会を立ち上げ準備してきたこともあり、事故なく無事終了し、多くの方々に喜んでいただけたことと思っております。

### 3. 敬老祝賀会

9月20日、京都府や井手町からの多くの来賓をお迎えし、ご利用者様やご家族様、職員一同で盛大な敬老祝賀会を開催いたしました。井手町からは、88歳、95歳を迎えられた皆様に、井手町社会福祉協議会からは77歳を迎えられた方に記念品が贈られ、施設や職員からは、ご利用者様全員に記念品を贈らせていただきました。たくさんの祝辞もいただき、全員で長年のご苦勞を敬い、素晴らしい式典になりました。

### 4. 秋の大運動会

10月25日、秋の大運動会を開催いたしました。特養のご利用者様だけでなくグループホームやケアハウスのご利用者様も参加され、一生懸命、競技に汗を流されました。

パン食い競争、玉入れと、職員競技のグルグルバット。青空のもと、笑顔一杯のひとときを過ごされました。

### 5. 井手町文化祭

11月7日、8日、井手町恒例の文化祭に参加させていただきました。デイサービス、特養、グループホーム、ケアハウスの皆様による素晴らしい作品が披露されました。また、外出レクリエーションとして、職員がサポートしながら会場にも赴き、皆様に楽しんでいただきました。

### 6. 家族会

12月20日、家族会交流会を開催いたしました。「ご家族様と職員との交流」をテーマに、ご家族様と職員でグループトークを行い、様々な貴重なご意見をいただくなど、実りのある交流会となりました。交流会後は昼食の試食会を行い、ソフト食も体験していただきました。

2月14日に家族会総会の開催を予定しておりましたが、施設内で発生したノロウイルスの関係で中止し、書類にてご家族様に年度事業報告等を行いました。

### 7. 地域と共に

高齢者や認知症について理解を深めていただくために、地元の児童、生徒たちと交流をしてみました。

- 8月 7日 泉が丘中学校 福祉体験学習 4名
- 12月14日 多賀小学校 福祉体験学習 34名
- 12月17日 井手小学校 職場見学（施設見学）4年生35名
- 3月 2日 多賀小学校 コーラス披露 17名

## Ⅱ 主要事業所の利用状況

### 1. 特別養護老人ホーム

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度利用者数	2,162	2,200	2,058	2,172	2,220	2,179	2,139	2,038	2,211	2,154	2,019	2,200	25,752
稼働率	96.1	94.6	91.5	93.4	95.5	96.8	92.0	90.6	95.1	92.6	92.8	94.6	93.8
26年度利用者数	2,117	2,246	2,144	2,201	2,274	2,206	2,265	2,180	2,240	2,178	2,002	2,226	26,279
稼働率	94.1	96.6	95.3	94.7	97.8	98.0	97.4	96.9	96.3	93.7	95.3	95.7	96.0

平成27年度は、入所されている方の平均介護度が従来の3.9から4.1へと上昇し、重度化しました。これにより退所者数も増え、平成27年11月の時点で平成26年度の年間退所者数を上回り、平成27年度末には22名となりました。また、病院入院者数も延べ数で平成26年度の約1.3倍に増加し、空きベッドが発生することで稼働が低下しました。このため、入院者の状態把握を行い、速やかに入所判定会を開くなど、できるだけ空きベッドを生じさせないよう努めました。しかし、平成28年2月にノロウイルス、3月にはインフルエンザが発生し、感染者は少数で施設内の蔓延は最小限に抑えられたものの、新規入所者の入所延期などを招き稼働に影響を与えました。このような状況により、平均年間稼働率は93.8%と平成26年度よりも約2%減少しました。

### 2. ショートステイ

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度利用者数	299	329	261	294	324	314	297	326	296	311	186	203	3
稼働率	99.7	106.1	87.0	94.8	104.5	104.7	95.8	108.7	95.5	100.3	64.1	65.5	94.0
26年度利用者数	242	248	264	293	292	285	274	278	287	274	260	287	3,284
稼働率	80.7	80.0	88.0	94.5	94.2	95.0	88.4	92.7	92.6	88.4	92.9	92.6	90.0

平成27年度は、当居宅介護支援事業所との連携を図りつつ、近隣居宅介護支援事業所への働きかけを行うことなどにより利用増加に努めました。また、ショートステイの利用については、特養の空きベッドの活用を促進するとともに、デイサービスやヘルパー事業に結びつけるなど、いでの里全体の稼働を向上していくという観点で運営を行いました。しかし、平成28年2月から3月に発生したノロウイルス、インフルエンザ等感染症の影響により、ショートステイの稼働率は低下しました。ただし、年度当初から平成28年1月までは平均稼働率が99.7%と高かったため、年間平均稼働率は平成26年度を約4%上回る94.0%で終わることができました。

### 3. グループホーム

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度利用者数	229	248	270	279	248	240	251	270	279	262	255	264	3,095
稼働率	84.8	88.9	100	98.2	88.9	88.9	90.0	100	100	93.9	97.7	94.6	94.0
26年度利用者数	240	250	270	279	279	269	279	270	279	279	252	279	3,225
稼働率	88.9	89.6	100	100	100	99.6	100	100	100	100	100	100	98.2

平成27年度は、ご利用者様の入退所（3名退所・3名入所）があり、また入院された方も複数おられたこともあり、年間稼働率としては平成26年度より約4%の減少となっています。今後も同様の状況になることも想定されることから、待機者確保の面でも居宅介護支援事業所と引き続きしっかり連携して対応します。

### 4. ケアハウス

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度利用者数	417	456	420	465	463	425	446	444	447	409	371	403	5,186
稼働率	92.7	98.1	93.3	100	99.6	94.4	95.9	98.7	96.1	88.0	85.3	86.7	94.1
26年度利用者数	360	410	415	401	406	386	424	411	460	440	385	407	4,905
稼働率	80.0	88.2	92.2	86.2	87.3	85.8	91.2	91.3	98.9	94.6	88.5	87.5	89.6

平成27年度は、稼働率で平成26年度より約5%増加しました。待機者の確保については、常日頃から、近隣の病院や居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなどへ宣伝活動を行い、新聞チラシの広告等を実施しています。また、直ちに入居したい待機者だけでなく、今は生活に支障はないが、将来的な事を考えて興味を示している待機者も、確保していくよう努めております。なお、ご利用者様の高齢化に伴い、介護度の重度化が進み、グループホームや特養の入所待機者となられた方もおられます。

## 5. デイサービス

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度利用者数	806	794	810	866	821	840	824	771	805	752	764	825	9,678
1日当り利用者	31.0	30.5	31.2	32.1	31.6	32.3	30.5	30.8	31.0	31.3	30.6	30.6	31.1
26年度利用者数	710	698	663	740	703	716	772	714	782	705	720	802	8,725
1日当り利用者	27.3	25.9	26.5	27.4	27.0	27.5	28.6	28.6	30.1	29.4	30.0	30.8	28.3

平成27年度は居宅介護支援事業所との連携を強化し、新規利用者の利用促進に力を入れました。また、個別機能訓練やリハビリ目的のレクリエーションを展開し、管理栄養士の工夫により他事業所に勝る食事を提供するなどサービス内容の幅を広げました。さらに職員がご利用者の立場に立った実習を行うなど工夫のある研修を実施し、サービスの質の向上にも努めました。このような様々な取り組みにより、ご利用者の支持を受け、平成26年度よりも利用者数が約10%増加しました。

## 6. ヘルパーステーション

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度利用者数	715	683	645	678	732	725	698	679	703	635	694	816	8,403
1日当り利用者	23.8	22.0	21.5	21.8	23.6	24.1	22.5	22.6	23.4	22.6	23.9	26.3	23.2
26年度利用者数	789	775	604	653	641	637	723	627	660	630	584	710	8,033
1日当り利用者	26.3	25.0	20.1	21.0	20.6	21.2	23.3	20.9	22.0	22.5	20.8	22.9	22.2

平成27年度は利用ニーズが増え、全体の利用者数が平成26年度より約5%増加しました。特に障害サービスのニーズが増加し、要介護・要支援のサービスの伸び率を上回りました。また、平成27年度から年末年始のサービス提供を開始し、7名23回のご利用がありました。ヘルパーステーションでは、職員とご利用者が1対1のサービスとなることから、ノロウイルス感染処理実習や糖尿病食調理実習など体験型の研修を行うなど、ヘルパーの技能やサービスの質の向上に努めました。また、現状、利用ニーズの高い朝夕の時間帯や土日祝日に訪問できるヘルパーの確保が課題となっており、対応について検討しております。

## 資料 1

## 平成 27 年度 委員会等施設内研修記録

日 時	テーマ	講師
4 月 30 日	京都伏見しみず病院グループ及びいでの里の展望	京都伏見しみず病院グループ 清水鴻一郎 会長
5 月 21 日	すべての人に口から食べる幸せを	NPO法人 口から食べる幸せを守る会 小山珠美 氏
6 月 19 日	特別食（糖尿病食）調理実習研修	ヘルパーステーション（進行：長嶺サービス提供責任者）
6 月 25 日	個人情報保護について	居宅介護支援センター 玉井主任
7 月 5 日 他 (延べ 17 日)	普通救命講習	京田辺市消防本部 井手分署 他
7 月 8 日	シーティングについて	山城北圏域地域リハビリテーション支援センター副所 長・第二岡本病院リハビリテーション科 田後裕之 氏
8 月 20 日他 (延べ 8 日)	緊急時対応研修（特養）	安全対策委員会（進行：板東副主任）
8 月 27 日	成年後見人制度について	南司法書士事務所 南 次男 氏
9 月 18 日	サービス提供責任者の実務	ヘルパーステーション 長嶺サービス提供責任者
9 月 24 日	認知症について（グループワーク）	サービス向上委員会（進行：小谷統括主任）
10 月 21 日	高齢者施設における感染対策について	京都府山城北保健所 山本篤仁 氏
11 月 13 日 11 月 14 日	ノロウイルス吐物処理実践研修	デイサービスセンター 谷田准看護師
12 月 7 日	福祉用具における褥瘡予防について	㈱タイカ ウエルネス 用品部 高木貞俊氏
1 月 20 日	薬（鎮痛剤）と疾患・連携について	山崎薬局 山崎薬剤師
2 月 4 日	介護現場の接遇について～信頼される福祉従事者 になるために～	リ・ライフ輝<キララ> 村上由香氏
3 月 9 日	身体拘束と虐待について	京都府介護福祉士会事務局長 岡本匡弘氏



## 資料 2

## 平成 27 年度外部研修実施記録

実施日	研修名	実施者	場 所	内容の概要等
4 月 13 日	南部ブロック栄養士部会	特別養護老人ホーム 加茂の里	特別養護老人ホー ム加茂の里	介護報酬改正に伴う各施設で の今後の取り組みについて
5 月 7 日	H27 年度新任職員研修会	京都府老人福祉施設 協議会	京都社会福祉会館	接遇、マナー等
5 月 21 日	いきいきライフセミナー	京都市社協/社会福祉 研修・介護実習普及セ ンター	ひと・まち交流館	体に良い食べ物、洗浄便座の 利用、お尻の拭き方、排便の 姿勢等について
5 月 28 日	南部ブロック栄養士部会	特別養護老人ホーム ゆりのき	特別養護老人ホー ムゆりのき	経口維持加算評価表のモニ アール作り、栄養士・看護師合 同部会について
6 月 2 日他	京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府健康福祉部介 護・地域福祉課	京都社会福祉会館	認知症ケアの基本的視点と理 念、認知症の人の理解と対応、 家族への支援方法等
6 月 3 日	福祉人材処遇改善・スキルアップ等支 援研修	京都府社協/京都府福 祉人材・研修センター	㈱エイデル研究所	認証事業所制度運用支援セミ ナー
6 月 5 日	障害福祉サービス事業者等集団指導	京都府健康福祉部介 護・地域福祉課	文化パルク城陽	障害福祉事業者等指導・監査 方針、事業運営上の重点事項 等
6 月 17 日	介護研修（初級）介護技術④	京都市社協/社会福祉 研修・介護実習普及セ ンター	ひと・まち交流館	腰痛予防を意識した立位、座 位の移乗介助（実技）等
6 月 17 日他	京都府〔主任〕介護支援専門員研修	京都府・京都府介護支 援専門員会	ハートピア京都	主任介護支援専門員の役割と 視点、ケアマネジメントと介 護支援専門員の倫理等
6 月 18 日	日本認知症グループホーム協会第二回 研修	認知症グループホー ム協会	キャンパスプラザ 京都	自然災害に見舞われた時、ど う対応すべきか等
6 月 19 日	介護保険サービス事業者等に係る集団 指導	京都府健康福祉部介 護・地域福祉課	文化パルク城陽	介護保険事業者指導・監査方 針、事業運営上の重点事項等

6月23日	特定給食施設等従事者研修会(食事摂取基準)	山城北保健所	宇治総合庁舎	日本人の食事摂取基準(2015年版)の改定点と概要
6月26日	転倒災害防止対策とストレスチェック制度セミナー	京都市南労働基準監督署	文化パルク城陽	転倒災害の予防について、メンタルヘルス予防について
6月26日他	キャリアアップ研修(中堅職員)	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	ルビノ京都堀川他	福祉サービスの倫理と基本理念、福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理等
6月29日	介護研修(初級)介護技術⑤	京都市社協/社会福祉研修・介護実習普及センター	ひと・まち交流館	正しい排泄ケア(排泄のメカニズム、排泄の介助)他
7月2日他	キャリアアップ研修(初任者)	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	ハートピア京都他	キャリアデザインと自己管理の在り方、福祉サービスの基本理念・倫理等
7月8日	管理職研修③「財務管理」	京都府(株)エイデル研究所	(株)エイデル研究所	新会計基準の基礎知識と財務分析の習得等
7月9日	介護研修(初級)	京都市社協/社会福祉研修・介護実習普及センター	ひと・まち交流館	認知症の基本的な病態と症状の理解等
7月10日	軽費老人ホーム相談員部会	京都府福祉協議会養護軽費部会	社会福祉会館	事例検討、情報交換
7月22日	面談者研修	京都府(株)エイデル研究所	(株)エイデル研究所	面談者の基礎知識、スキルと心構え、ロールプレイ 面談スキル向上
7月24日	介護研修(初級)	社会福祉研修・介護実習普及センター	ひと・まち交流館	パーソンセンタードケアについて
7月28日	機能訓練指導員等研修会	京都府リハビリテーション支援センター	京都府医師会館	機能訓練指導員が担う施設職員間での連携と生活リハビリテーション
7月30日	指導職研修	京都府(株)エイデル研究所	(株)エイデル研究所	指導的職員の役割行動、リーダーシップの効果的進め方等

8月5日	地域包括ケア研修会	京都地域密着型サービス事業所協議会	ひと・まち交流館	これからのデイサービスセンターに求められる機能等
8月12日他	介護福祉士実習指導者講演会	公益社団法人日本介護福祉士会	京都社会福祉会館	介護課程の理論と指導方法、実習指導の理論と指導方法等
8月19日他	認知症介護実践者等養成研修	京都府健康福祉部介護・地域福祉課	京都社会福祉会館	認知症ケアの基本的視点と理念、コミュニケーション、家族への支援方法等
8月24日	社会福祉施設経営者セミナー	京都府社会福祉法人経営者協議会	京都タワーホテル	マイナンバー制度、社会福祉法改正への対応等
8月26日	京都社会福祉事業年金設立事業説明会	京都府民間社会福祉施設職員共済会	メルパルク京都	新制度への移行にともなう会計処理等
8月27日	身体拘束ゼロ推進研究委員会リーダー職員研修会	京都府老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	身体拘束廃止へリーダーとして押さえておくべきポイント
9月9日他	京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府健康福祉部介護・地域福祉課	京都社会福祉会館	認知症介護実践リーダーの役割等
9月10日	介護研修(初級)	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	ひと・まち交流館	高齢者に多い一般的な病気症状の特性や薬の作用等
9月11日	管理職研修	京都府(㈱エイデル研究所)	㈱エイデル研究所	部下のメンタルヘルスケア
9月15日	コーチングスキルアップ研修	京都府社会福祉協議会	京都テルサ	コーチングの基本-
9月17、18日	キャリアアップ研修(管理者)	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	京都平安ホテル	管理職員としてのキャリアデザインと職場環境整備のあり方等
9月28日	マイナンバー制度実務対応セミナー	税理士法人京都合同会計	きらっ都プラザ(京都産業会館)	マイナンバー制度の実務への影響と対応
10月6日	OJT指導者研修	京都府(㈱エイデル研究所)	㈱エイデル研究所	人材育成とOJTの役割等
10月7日他	介護福祉士実習指導者講演会	公益社団法人日本介護福祉士会	京都社会福祉会館	介護課程の理論と指導方法、実習指導の理論と指導方法等

10月8日	中堅職員研修	京都府老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	職場での中堅職員の役割等
10月13日	全国軽費老人ホーム近畿ブロック実践発表会	近畿老人福祉施設協議会	大阪リバーサイドホテル	ケアハウスの生活支援等
10月14日	腰痛予防対策講習	中央労働災害防止協会	京都府中小企業会館	腰痛発生に関連する複合的要因等
11月4日	管理職研修	京都府(株)エイデル研究所)	(株)エイデル研究所	経営課題としての人材育成等
11月4日他	キャリアアップ研修(チームリーダー)	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	京都テルサ他	キャリアデザインとセルフマネジメント等
11月12日	福祉サービス苦情解決事業セミナー	京都府福祉サービス運営適正化委員会	立命館大学朱雀キャンパス	協会会員に寄せられる苦情の特徴と利用者満足への取り組み等
11月18日	中堅職員研修	京都府(株)エイデル研究所)	(株)エイデル研究所	中堅職員の役割行動等
11月24日	老人福祉施設看護職・介護職研修	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	ハートピア京都	認知症の行動・心理症状等
11月27日	介護研修(初級)介護技術④	京都市社協/社会福祉研修・介護実習普及センター	ひと・まち交流館	腰痛予防を意識した立位、座位の移乗介助(実技)等
12月9日	福祉医療機構退職手当共済制度改正説明会	京都府民間社会福祉施設共済会	キャンパスプラザ京都	制度改正、マイナンバー制度の対応
1月12日他	京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府健康福祉部介護・地域福祉課	京都社会福祉会館	認知症介護技術の向上・専門職員の養成
1月21、22日	京都府認知症介護実践者等養成研修	京都府健康福祉部介護・地域福祉課	京都社会福祉会館	認知症対応型サービス事業の管理・運営等
1月27日	福祉職場研修担当リーダー研修	京都府社協/京都府福祉人材・研修センター	ルビノ京都堀川	施設における人材育成の仕組み(キャリアパスシステム)の構築
2月24日	特定給食施設等従事者研修会	山城北保健所	文化パルク城陽	災害時における危機管理 栄養部門の取り組み
3月1日	社会福祉法改正対応セミナー	葵総合保険	キャンパスプラザ京都	社会福祉法改正に備えての取り組み課題等

## 平成27年度 日野しみずの里 事業報告

平成27年度は、介護報酬がマイナス改定されたことで稼働率アップを常に意識して事業運営してまいりました。

4つの事業所の内、特別養護老人ホームについては、大きな事故も無く、安心・安全をご利用者に提供できたものと考えております。冬場のノロウイルスなど感染症の発症も抑えられ、稼働率アップに繋がりました。また、空ベッドをできるだけ作らないように、入退所の手続きを速やかに行おうとする意識が定着したことも稼働率が確保できた要因と思われます。

一方、在宅系であるデイサービスは、年間を通して低稼働率となりました。競合する近隣エリアに4ヶ所の新しい施設がオープンし、競争が激化しました。施設を選ぶ内容で、多くの高齢者の方が興味を示されるものにリハビリがありますが、平成26年に機能訓練を中止したことも利用者確保の材料が乏しくなった原因の一つと考えられます。レクリエーションを工夫したりPR活動を行ったりしましたが、稼働率を上昇させるまでには至りませんでした。

また、同じく在宅系のショートステイでは、長期利用のご利用者を施設入所等で多数失い、一泊二泊の短期利用で空室を埋める状況となりました。デイサービスでもありましたように、近隣エリアには新しい施設がオープンしているために、新規の利用者確保は容易ではありませんでした。長期利用者に依存していたこと、新規利用者の獲得が思うように進まなかったことが稼働率低下に繋がったものと思われます。

最後にケアマネージャーを2名配置している居宅介護支援事業所ですが、開所して以来平成26年度までに取扱い件数を順調に増やしてきましたが、担当先が増え新たな取扱いが難しくなった時期に、新規を抑制する方針だけを進めたために、施設入所や死去されて減少していく担当件数をカバーできなくなり、低調な結果となりました。

平成27年度は、特別養護老人ホームを除く在宅系の事業所で、多くの検討しなければならぬ課題や宿題を積み残してしまった一年となりました。職員が一丸となって引き続き安心・安全を提供できますように、5年目の「日野しみずの里」をより良い施設にしてまいります。

## 主な事業運営

### 1. 特別養護老人ホーム

#### (1) 夏祭り

7月12日、ご利用者やご家族をお招きしまして盛大に行われました。  
各ユニットで工夫を凝らし、輪投げや射的などのゲームコーナーを設置して楽しんでいただきました。また、食べ物も管理栄養士の指導の下、カレーライスなど皆様に喜んでいただけるメニューを提供させていただきました。

#### (2) 敬老会

9月21日、長寿をお祝いし、施設より入所者全員に記念品を贈らせていただきました。そして家族会からは、傘寿（80歳）2名、米寿（88歳）5名、白寿（99歳）1名、上寿（100歳）4名、合計12名のご利用者様にお祝いの賞状と記念品をお贈りし、理事長からは100歳以上の6名のご利用者様に 蘭の花が贈られました

#### (3) レクリエーション

春にはお花見、夏にはフラダンス、秋には紅葉狩り、冬には餅つき、節分など季節を感じていただき楽しんでいただける企画を実施いたしました。また植物園や外食レクなど、外出し気分を変えていただくような行事も積極的に行いました。

### 2. デイサービス

#### (1) 夏祭り

8月3日～8日の1週間、夏祭りを行いました。前後半の3日間ずつ食事メニューを変え、午後からは射的やヨーヨー釣りなどのゲームを行い、利用者の皆様には、楽しい1日を過ごしていただきました。

職員にとりましては、慌ただしく気の休まる暇のない忙しい1週間ではありますが、同時に充実した1週間でもあります。

#### (2) 敬老会

9月17日～23日かけて1週間、敬老会を行いました。それぞれの日にご利用いただいた皆様に記念品をお渡しし、賀寿にあられるご利用者様には、長寿をお祝いする感謝状をお渡ししました。そしてカラオケ大会やお茶会などの催し物を行い、楽しい時間を過ごしていただきました。

### (3) 運動会

近隣エリアのデイサービスやデイケアとの交流機会を持つという目的から「醍醐地域デイサービス対抗風船バレーボール大会」を実施しています。ご利用者にとっては、他施設の方と交流することは珍しく、普段行っている風船バレーボールも新しいレクリエーションメニューのように感じていただきました。また、他施設の皆様に気を配ってくださる一面や、他施設に負けないようにと団結力を発揮される一面なども見られ、たいへん有意義な時間を持つことができました。

### (4) レクリエーション

お花見など食事を兼ねて外出し、季節を感じるができる行事を実施しています。また、ウクレレや和太鼓の演奏会など音楽に関わるボランティアの協力を得た行事も実施しています。

## 3. クラブ活動

希望者を募り、書道・園芸・手芸、3つのクラブ活動を行っています。

書道 — 先生をお招きし、一生懸命練習されています。

園芸 — 苗を購入し、プランターにお好きなお花を育てています。

手芸 — プレスレットなど気に入った小物を制作されています。

秋には作品の展示会を開催し、力作を皆様に披露されています。

## 4. 地元と共に

(1) あらゆる場面でボランティアの皆様にご支援をいただいております。演奏会ダンス、演劇等々、ご利用者に楽しい時間を提供していただき感謝しています。介護の分野で地元にお返し、貢献して行きたいと思っています。

(2) 毎週月曜日の朝に、施設周辺の清掃活動行っています。些細なことですが継続することが大事と考えていますので、引き続き実施してまいります。

## 5. 家族会

3月13日に家族会懇談会を開催いたしました。20名のご家族に参加いただき報告事項の後にグループに分かれ、おやつを召し上がりながらフリートークする場を設けました。いろいろな話が聞かれ、有意義な、また楽しい時間を過ごすことができました。

## 事業所の利用状況等

### 1. 特別養護老人ホーム

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度利用者数	3,245	3,294	3,196	3,341	3,304	3,142	3,218	3,140	3,242	3,271	3,051	3,339	38,783
稼働率	98.3	96.6	96.8	98.0	96.9	95.2	94.4	95.2	95.1	95.9	95.6	97.9	96.3
26年度利用者数	3,111	3,131	3,041	3,114	3,185	3,188	3,330	3,221	3,252	3,193	2,981	3,342	38,089
稼働率	94.3	91.8	92.2	91.3	93.4	96.6	97.7	97.6	95.4	93.6	96.8	98.0	94.9

平成 27 年度は、一年を通して大きな事故は無く、冬場の感染症は職員を含め 2 名のインフルエンザ発症が見られたものの、最も注意を要するノロウイルスの発症は無く、安定した運営が行えた一年間でありました。累計で年間 24 件の退所がありましたが、空ベッドをできるだけ作らない意識の向上も見られたことが、安定運営できた要因と考えられます。

その結果、平成 27 年度は 96.3% の高稼働率（前年対比 +1.4%）を確保することができました。

### 2. ショートステイ

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度利用者数	183	211	197	220	236	233	215	227	167	181	193	209	2,002
稼働率	61.0	68.1	65.7	71.0	76.1	77.7	69.4	75.7	53.9	58.4	66.6	67.4	67.6
26年度利用者数	247	251	251	245	267	262	285	231	248	244	235	241	3,007
稼働率	82.3	81.0	83.7	79.0	86.1	87.3	91.9	77.0	80.0	78.7	83.9	77.7	82.4

平成 27 年度は、利用者数が前年に比べ大幅に減少しました。要因としましては、10 名ほどの長期ご利用者が、施設入所され利用対象者でなくなったこと、近隣に競合する他施設が開設されたこと、特に小規模多機能である施設に利用者が流れたことが考えられます。

利用者増加を図るため新規利用者の獲得もしてまいりましたが、一泊二泊の短期利用が中心であるため、利用者増加にまでは至らない結果となりました。



### 3. デイサービス

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度利用者数	392	404	405	384	359	414	390	329	364	324	358	413	4,536
1日当り利用者	15.1	15.5	15.6	14.2	13.8	15.9	14.4	13.2	14.0	13.5	14.3	15.3	14.6
26年度利用者数	502	482	457	490	463	469	479	462	460	424	367	416	5,471
1日当り利用者	19.3	17.9	18.3	18.1	17.8	18.0	17.7	18.5	17.7	17.7	15.3	16.0	17.7

平成 27 年度は、近隣に機能訓練特化型などのデイサービスが 4 施設新規オープンし、エリア内の競争が激しくなり、平成 26 年度に機能訓練を中止したことも重なり大幅な利用者数の減少となりました。

レクリエーションの内容を、より充実させるため再検討を行ったり、周辺地域に P R チラシを職員がポスティングしたり、近隣の居宅支援事業所への営業活動も積極的に行いましたが、1 日当りの利用者数は 14.6 人、前年比-3.1 人となり、大きな課題を残す結果となりました。

### 4. 居宅介護支援事業所

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度請求件数	62	65	65	65	64	61	62	61	61	63	63	65	757
請求件数上限対比	79.5	83.3	83.3	83.3	82.1	78.2	79.5	78.2	78.2	80.8	80.8	83.3	80.9
26年度請求件数	71	71	69	71	74	73	70	69	71	69	64	66	838
請求件数上限対比	91.0	91.0	88.5	91.0	94.9	93.6	89.7	88.5	91.0	88.5	82.1	84.6	89.5

※請求件数上限 39 件×2 名

平成 27 年度は、夏場以降にご利用者の死亡や施設への入所で、取扱い件数が減少し期末に近づき新規の取扱い件数が若干伸びたものの、1 か月の請求件数の目安となる 70 件（ケアマネージャー 2 名×35 件）を、クリアできた月は一度もない結果となりました。

デイサービスなどの在宅系事業所の運営にとって、重要な役割を果たす居宅介護支援事業所が安定運営するために、平成 28 年度は新規担当先の受け入れ増加をより一層図っていかねばならないと考えています。

## 資料

## 平成27年度 研修記録

実施期日	演題・テーマ	実施者	場 所	内容の概要等
(期 間)	(講習会名)	(主催者)	(実施地名)	
4月13日	会議ファシリテーションについて	市老人福祉施設協議会	ひとまち交流館	集団活動がスムーズに進むように、成果があるように支援するには
4月23日	介護施設で行う笑いヨガセミナー	(株)東豊経営	エルおおさか	日々のレクリエーションに新たなものを取り入れ質の向上を目指す
5月7日	27年度介護報酬における管理栄養士実務について	市老人福祉施設協議会	ひとまち交流館	経口維持加算等について
6月11日	喀痰吸引等京都府指導者養成研修	府看護協会	看護協会研修センター	介護職が吸引を行うために受講する研修に係る指導者を養成する
6月17日	ポジショニング研修	(株)モルテン	施設内研修	褥瘡防止に係るポジショニングについて
7月4日	看取り期に望まれる実際のケア	全国高齢者施設看護師会	新梅田研修センター	家族に寄り添う看取りケアの方法を学ぶ
7月13日	栄養管理に役立つ摂食・嚥下セミナー	市老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	摂食・嚥下の専門の看護師による実践を交えた講義
7月19日	レクリエーションセミナー	余暇問題研究所	みやこめっせ	高齢者向けの楽しいレクを学ぶ
8月5日	摂食嚥下勉強会	(株)クリニコ	施設内研修	摂食嚥下についての施設内勉強会
8月12日 8月13日他	介護福祉士実習指導者講習会	介護福祉士会	京都社会福祉会館	実習生受入に伴う指導者の育成

8月29日	認知症ケアセミナー	日本通所ケア研究会	大阪研修センター	認知症の人へのケアとコミュニケーション
9月3日 9月10日	AED研修	フクダ電子	施設内研修	AEDの使用手法他
9月9日 10月14日	介護職員中級研修	市社会福祉協議会	ひとまち交流館	基本的な姿勢管理が行えるよう、アセスメントとアプローチ技術を習得する
10月14日 10月22日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	市社会福祉協議会	ひとまち交流館	福祉分野に共通する能力を向上させるための全国共通基礎的研修
10月15日	接遇についての研修	研修委員会	施設内研修	福祉サービスを支える言葉遣いとマナーのDVD鑑賞
10月18日	虐待についての研修	研修委員会	施設内研修	虐待防止についてのDVD鑑賞
10月28日	介護職員初級研修	市社会福祉協議会	ひとまち交流館	介護技術スクリーニングとリラクゼーション
11月5日 11月6日他	介護福祉士実習指導者講習会	介護福祉士会	京都社会福祉会館	実習生受入に伴う指導者の育成
11月13日	介護職員初級研修	市社会福祉協議会	ひとまち交流館	介護技術 残存機能を利用した体位変換・起居
11月17日 11月19日	感染症について	研修委員会	施設内看護師	インフルエンザ・ノロへの対応
11月27日	介護職員初級研修	市社会福祉協議会	ひとまち交流館	介護技術 腰痛予防を意識した立位座位の移乗介助

11月30日	健康経営セミナー	全国健康 保険協会	メルパル ク京都	ストレスチェック制度について
12月4日	施設ケア研修会	市老人福祉 施設協議会	京都社会 福祉会館	施設での看取る上での課題を研究
12月11日	介護職員初級研修	市社会福祉 協議会	ひとまち 交流館	正しい排泄ケア、メカニズム、介助
12月14日他	ユニットリーダー研修	ユニットケア 推進センター	京都 テルサ	ユニットケア施設の管理者研修
1月7日 1月13日他	排泄ケア研修	ユニチャーム	施設内 研修	排泄ケアについて施設内研修
1月9日	生活機能向上研修	京都府医師会	医師会館	在宅ケアの質に大きく影響する食支援につ いて理解を深める
1月15日	介護職員初級研修	市社会福祉 協議会	ひとまち 交流館	認知症ケアの基本について
1月20日	ストレスチェック制度 解説セミナー	京都労働局	J A会館	ストレスチェック制度の内容、実施方法につ いて
2月9日	健康保険研修 年金実務研修	全国健康 保険協会 日本年金機構	京都 テルサ	傷病手当金制度について 老齢年金の概要
2月10日	口腔ケアについて	くわばら 歯科医院	施設内 研修	施設での口腔ケアについて

## 平成 27 年度 深草しみずの里 事業報告

平成 28 年 2 月の特別養護老人ホーム「深草しみずの里」の開設に向け、給食業者や設備機器の選定、職員採用活動、開設認可申請、建物の各種検査を乗り越えまして、平成 28 年 1 月に無事竣工を迎えることができました。

1 月 27 日には京都市から施設開設の認可を受け、社会福祉法人 弥勒会として 3 つ目の特別養護老人ホーム「深草しみずの里」を、27 年度計画通り 2 月 1 日に開所の運びとなりました。

また、「深草しみずの里」の開設に引き続きまして 3 月末に開設しました医療法人清水会「京都リハビリテーション病院」、介護老人保健施設「深草京しみず」と連携を密にしながら、3 施設開設後の「ケアフルヴィレッジ伏見しみずの郷」の安定運営を目指して準備を進めてきました。

施設運営の方針（CARE：ケアー）のもと、「日野しみずの里」に続くユニットケア方式の特別養護老人ホームとして、入居者様の意思・人格を尊重し、明るく家庭的な雰囲気のもとで、個室及び共同生活室において安心してこれまでの自立的な暮らしを継続することができ、地域や家庭との結びつきを重視した運営に努めます。

利用者様お一人おひとりに相応しいオーダーメイドケアの実現を目指し、個々の生活を大事にしながらも社会性を維持して穏やかな日々の暮らしができるように、総ての職員が何をなすべきかを常に考え行動することで、施設全体のサービス向上に日々努めております。

### 【基本方針】

1. 利用者本位：わたしたちは現場を原点として利用者様・家族様の視点でニーズをとらえ、心を打つ介護サービスを提供します。
2. 先見性：わたしたちは広く社会に目を向け、介護情報・医療情報を敏感にとらえ、新しい施設運営を目指します。
3. 責任感：わたしたちは利用者様・家族様に対する責任感を継続的に果たし、良き施設として行動します。
4. 積極性：わたしたちは自ら高い目標に挑戦することで、一人ひとりがスキルアップし続ける活力にみちた施設職員を目指します。

## 事業内容・運営

- 平成 28 年 1 月 12 日 深草しみずの里 職員入職式 61 名 京都テルサ  
平成 28 年 1 月 13 日～16 日 内部研修・外部研修実施  
平成 28 年 1 月 19 日 竣工式・一般内覧会  
平成 28 年 1 月 27 日 京都市から開設認可  
平成 28 年 1 月 30 日 内覧会 約 260 人来館  
平成 28 年 2 月 1 日 深草しみずの里 開所  
平成 28 年 3 月 11 日 消防訓練実施  
平成 28 年 3 月 29 日 平成 27 年度弥勒会理事会(第 5 回)・評議会(第 2 回)

## 利用状況

### 1. 特別養護老人ホーム深草しみずの里 (入居定員 110 人)

	2 月	3 月
入居者数	30	49
稼働率	27.3	44.5

2 月 1 日から入居を開始し、3 月末で 49 名様が入居されました。

開設まで待てない方の入所申請取下げや、病状・家族様の希望による入居延期などにより、延入居者数が計画を下回り稼働率に影響を与えました。

今後、入所申請に基づいて、待機者の方の計画的な面談を行い、入居判定委員会での適正な判定を経て、重要事項説明、利用契約書の締結、入居に至る一連の手続きについて、ユニットケア方式施設としての説明責任を果たし、円滑かつ速やかな入居に繋がるよう引き続き努力してまいります。

### 2. ショートステイ (定員 10 人)

	2 月	3 月
延利用者数	57 人	143 人
一日平均利用者数	2 人	4.6 人
稼働率	19.7%	46.1%

3 月末で一日平均人数は 4.6 人で、居宅支援事業所など PR 活動をおこないましたが、まだまだ知名度も低く計画通りの稼働率には至っていない状況です。

今後、更に定期的な営業活動を実施し、長期利用者の獲得も視野に入れ計画通りの稼働を推移できるように努めます。

### 3. デイサービス(定員 30 人)

	2 月	3 月
延利用者数	10 人	47 人
一日平均利用者数	0.4 人	1.7 人
登録数	5	19
稼働率	1.3%	5.8%

職員体制等によりデイサービスの準備が遅くなり、2月20日以降より近隣の営業活動、チラシ配布など積極的に活動しました。3月末時点では、少しずつ新規利用者が増加するも、入院や中止、終了などもあり稼働低迷となった。今後、レクリエーションの工夫など、より充実させ、利用者様に積極的に選んでいただけるデイサービスを目指し、営業活動を強化し稼働率上昇を目指します。

#### 今後の課題

介護職員の確保が厳しい中、平成28年4月1日付けで16名の新規採用職員が入職されました。全体研修3日、深草しみずでの研修3日を経て、4月11日から各ユニットに配属され、中堅職員を新人職員の指導担当に充て、日々の業務指導や介護技術の習得に専念しております。

介護職60名の内、新卒入職者が4分の1を占めるため、通常勤務から変則勤務を充分経験させたのち、約3ヶ月を目途に夜勤対応が可能となるレベルまでのスキルアップを図る。

その後、新人職員を含めた夜勤体制の構築により、8月末には特養110床の満床を目指し、併せてショートステイ10床、デイサービス30人枠の稼働率の向上に努め、「深草しみずの里」を計画通りに運営ができるよう、職員一同今一度気を引き締めて、利用されやすい施設となるよう取り組んでまいります。

## 平成27年度 法人本部事業報告

社会福祉法人弥勒会法人本部は、平成26年度より理事会を補佐する事業部門として独立させ、法人全体及び各事業所の運営管理等を行ってきました。平成27年度は既存施設の運営管理と平成28年2月に開設した特別養護老人ホーム「深草しみずの里」の整備状況及び久御山町特別養護老人ホーム施設整備事業の内定等についてご報告し、事業を進捗してまいりました。

平成28年度は「深草しみずの里」の経営を軌道に乗せるとともに、各施設の経営上運営上の課題を収集分析し、改善策等を理事会にご報告しつつ、法人全体及び各事業所の健全経営に努めてまいります。

### 1. 事業内容

#### ①理事会・評議員会の開催

定例開催 平成27年 5月30日－平成26年度事業報告・決算等

平成28年 3月29日－平成28年度事業計画・予算等

臨時開催 平成27年 4月 1日－理事長、理事長代理の互選等

平成27年12月22日－久御山町特別養護老人ホーム施設事業への  
事業提案の提出

平成28年 1月19日－深草しみずの里施設長の専任

#### ②グループ経営会議の開催

毎月1回開催－各事業所の予算達成状況の確認、経営上の問題点の改善等

#### ③各事業所運営会議の開催

毎月1回開催－各事業所運営上の問題点の改善等

### 2. 収支について

収入－各拠点区分(いでの里・日野しみずの里)からの繰入金収入

支出－役員報酬・兼務職員の人件費等

収支差額－ゼロ

### 3. 今後の課題

平成28年2月に開設した特別養護老人ホーム「深草しみずの里」を計画通りに運営することで経営基盤がより安定します。法人全体で入所定員349名、通所定員95名、職員数300名超の社会福祉法人として、より一層法人本部機能を強化します。新たな整備事業に向けて、医療法人清水会との連携を密にし、優秀な職員確保及び経営の効率化にも努めてまいります。